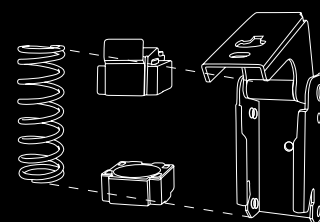


ほんとうに強いバネは、
機器への衝撃も、
環境への衝撃も吸収する。

激しい負荷がかかる部品にこそ、強さが求められる。例えば、複合機の本稿送り装置をスムーズに開閉させるバネ。カウンターバランスと呼ばれるこの部品では、製品寿命を上回る使用を想定し、耐久性を強化。長寿命を前提に設計しています。また、再使用の可否を判断する「部品寿命自動診断システム」を確立。使用履歴を残すことで、高精度の余寿命判定を可能にしました。こうした新技術により、リユース率は大幅に拡大。1996年度～2006年度の国内累計では、17,400tの新規資源投入を抑制しています。部品が強くなれば、商品は環境にやさしくなる。富士ゼロックスは、CO₂排出量を抑える取り組みも強化していきます。



あらゆる部品に、
環境哲学を。
富士ゼロックス